

那須の歴史
再発見!

那須町の 地域文化遺産

vol.17



普門院

今回は黒田原地区の普門院を紹介します。

普門院は、もともと福島県白河市にあった曹洞宗の寺院でした。明治30年に分院として黒田原に開草庵が開かれると、大正7年に普門院を現在地へ移転させました。このとき、開草庵のご本尊でもある観世音菩薩も一緒に移されています。一説には、普門院の土地は明治天皇の侍従で、明治24年に設置された黒田原駅や明治27年に開業した黒田原温泉に携わった荻昌吉の別荘跡地だったともいわれています。

普門院の伽藍は、京都在住であった宮大工・熊本礼次郎による造りであり、同時期に建設された藤田家住宅兼藤田商会店舗（旧立正佼成会建物）も彼による造りとされています。熊本が普門院を担当したのは、白河市の関川寺の住職から紹介されたためとされており、大正9年に開通する東北本線新線にあわせて、新しい黒田原駅前の区画（現在の駅前）が整備されたことも関係していると考えられます。また、拝殿の木鼻や墓股などの装飾は、埼玉県を中心に北関東でも多くの作品を見ることが出来る彫刻師・内山凌雲によるものとされ、彼の作品は那須町では伊王野下町の屋台彫刻や専称寺拝殿の彫刻で見ることが出来ます。

普門院には、黒田原の発展を支えた藤田和三郎を含む、藤田家のお墓があります。また、黒田原に農場を開いた初代司法大臣・山田顕義（1844・1892）の位牌も遺されています。位牌には「顯忠院 正二位勲一等伯爵 釈義宣空齋大居士」と記されています。これは『山田顕義伝』に紹介されている院殿号は異なりますが、護国寺で葬儀が行われた際の院号であることがわかっています。またこれは、開草庵が置かれた前後に製作されたのではないかと考えられており、普門院と山田家の関りを知ることが出来る貴重な資料であるといえます。

黒田原の誕生とともにあゆみをしてきた普門院は、これからも黒田原と住民の行く末を見守っていくことでしょう。



普門院の彫刻

▼問合せ 那須歴史探訪館
☎74・7007

那須歴史探訪館

■申込み・問合せ
那須歴史探訪館 ☎74-7007



探訪館
ホームページ

特別展「未来へつなぐ！
那須町の歴史文化遺産」
を開催します

町を代表する文化財を一堂に紹介するとともに、人口減少のなかで地域での文化財継承・探訪館の役割について考えます。

▼会期 9月19日(土)・12月6日(日)

▼入館料 大人300円
(中学生以下無料)

シンポジウム「これから
の地域における歴史文化
遺産の継承」

▼日時 10月24日(土)

午後1時30分～4時30分

▼定員 50人(要予約先着順)

▼場所 ゆめプラザ・那須

▼基調講演 天野真志氏「地域歴史文化の未来―各地の取り組みから考える」(国立歴史民俗博物館准教授)

・報告① 堀野周平氏「鹿沼まると博物館における文化遺産の継承」
・報告② 高村恵美氏「力をあわせて、すこしずつ―常陸大宮市の文化財を守る取り組み―」

ふすま張り古文書はがし
体験講座

ふすまに貼られた古文書ととりだす体験を行います。

▼日時 10月11日(日)

午後2時～4時

▼定員 10人(要予約先着順)

▼場所 文化センター

黒田原ウオーク

「黒田原の成り立ちを知ろう！」

▼日時 11月22日(日)

午後2時～4時

▼定員 15人(要予約先着順)

▼集合場所 那須町役場前

展示解説

▼日時 9月20日(日)、10月25日(日)、11月3日(火)・(祝)、12月6日(日)

午後2時～3時

無料入館日

▼日時 10月25日(日)、11月3日(火)・(祝)

日(火)・(祝)

※詳しくは町ホームページをご覧ください。